

ユーフォニアムの世界的な名手、英国のスティーブン・ミード氏を迎えて、公開講座が開催されました。受講生は、本学のユーフォニアム専攻生と金管楽器専攻生で、ソロ曲とアンサンブル作品のレッスンを受講しました。

最初に受講した学部 3 年生は、冒頭の場面で少し緊張していたようです。ミード教授はどのようにして、演奏の最初の場面に臨むのか、そのアプローチについて詳しく説明をしました。

特に身体のリラックスの仕方と、ブレスの関連性についての指導は会場の聴講生を全員を対象に行い、その効果を皆が体感できる素晴らしい機会となりました。

2 人目の学部 3 年生には、作品の解釈について、特にフレーズの頂点を迎える場面でのアピールの仕方と、それを可能にする技術面のサポートについて説明をされました。

最後は金管楽器のアンサンブルでの受講となりました。作品の展開を大切にして、効果的なエンディングを迎えるために、各場面の表情や間合いをどのように設定して、アンサンブルとして仕上げるのか、そのアプローチとしての指示が様々なアイディアとして示されました。

後半は、ミード教授による模範演奏を披露されました。

特に邦人作品を始め、日本でユーフォニアムを学ぶ私たちにとって興味深い作品を演奏して頂きました。氏の卓越した技術や音楽性はもちろんですが、先程のレッスンでご自身が示された様々な事象が演奏の中に現れ、それを学ぶ事、実感する事が出来ました学生、受講生のみなさんは本当に幸せな時間となったと思います。

ユーフォニアム本学准教授深石宗太郎

洗足学園音楽大学 公開講座 プログラム

スティーブン・ミード教授 (ユーフォニアム) マスタークラス

2019 年 12 月 20 日 18:30 洗足学園音楽大学 C604 教室

受講生 学部 3 年

【受講曲】マーティン・エレビー/ユーフォニアム協奏曲
第 1 楽章 ファンタジー

Martin Ellerby / Euphonium Concerto:I.Fantasy

受講生 学部 3 年

【受講曲】アルフレッド・デザンクロ/クラシック形式による小組曲 より第 1 楽章 プレリユード、第 2 楽章
フーガ、第 4 楽章 フィナーレ

Alfred DESÉNCLOS / Suite brève dans le goût
classique I.Prelude,II.Fuguettes,IV.Finale

【伴奏者】岡南 健



室内楽アンサンブル学部 1 年

1st trumpet / 2nd trumpet / horn / euphonium / bass trombone / tuba

【プロフィール】洗足学園音楽大学 1 年室内楽の授業にて結成。橋本晋也氏、古田賢司氏に師事。

【受講曲】「ポーギーとベス」より Porgy and Bess

スティーブン・ミード教授 模範演奏
ジョアキーノ・ロッシーニ/序奏・主題と変奏曲
Gioachino Rossini, arr. Sean Brennan /
Introduction, Theme and Variations
保科洋/ユーフォニアムとピアノのためのファンタジー
Hiroshi Hoshina / Fantasy for Euphonium and
Piano
アントニオ・ソレル/ファンダンゴ
Antonio Soler / Fandango
ピアノ伴奏 岡南 健

